

重症熱性血小板減少症候群（SFTS）への 注意喚起と対策を

質問者 榎 本 義 輝

マダニが媒介する感染症、SFTSについて、患者数は速報値で135人と過去最多であった一昨年の累計を上回っている。発症すると発熱や倦怠感等の症状が現れ、重症化すると出血が止まらなくなるなど、また意識障害、肝臓や腎臓の障害が起き、死に至るケースもある。致死率は25%から30%と言われ、感染した動物からヒトへの感染も確認されており、注意喚起や予防策に加え、害獣駆除等の強化が必要と考えるが、所見を伺う。